

抗議

政府による「移民受け入れ拡大政策」の検討及び、移民大量受け入れへと繋がる「外国人技能実習制度」の規制緩和（滞在期間の延長・再入国の容認・対象職種
の拡大等）について断固反対します！

- 1) 移民受け入れ政策をこれまでにを行った欧州各国では、移民問題が深刻な社会問題にまで発展しており、今後それらが解決する見通しも全くありません。欧州各国での移民政策の失敗は、たとえ初めは受け入れ側が一時的な労働力不足の穴埋め策として、慎重に外国人労働者の滞在期間と人数を制限したとしても、結局は様々な理由によって外国人の流入と定住化への制御が不能となり、国家国民にとって取り返しのつかない事態を招くことを証明しています。
- 2) 現在の在日外国人の割合や、「外国人技能実習制度」の国籍別申請者数から判断して、同制度の規制緩和がさらなる大量の中国人労働者を招き入れることになるのは間違いありません。彼らは醜い反日教育を受けているだけではなく、有事の際には「国防動員法」の動員対象と法律上義務づけられています。チベット、ウイグルを侵略し、現地民族への虐殺、弾圧行為を繰り返す国家の人々を大量に招き入れる制度は、日本の将来へ多大なる危険性を残します。
- 3) 「外国人技能実習制度」などによって外国人労働者を人手不足の職種への対応策とするのであれば、今まで以上にそれら職種を日本人が敬遠する恐れがあり、更なる外国人労働者受け入れに発展すると予想されます。そもそも、技能実習制度は途上国の人に技能や知識を身に付けてもらうのが制度の趣旨であり、この度の見直しは明らかにその目的から逸脱しています。建設業、介護などを突破口に、なし崩しに外国人大量受け入れが拡大、進行する恐れは否定できません。政府は、外国人労働者流入に歯止めが利かなくなる危険性を知りながら、国民の反発を抑える為、段階的な移民大量受け入れ解禁へのプロセスを踏んでいるとしか思えず、同制度の見直しについては、国民の一人として絶対に認めるわけにはいきません。

(送信者コメント欄)